



今月新しく入りました。

※3月の新刊は、2日（木）からの貸出となります。

📖 一般の本

メ切本（編集＝左右社編集部）
継続捜査ゼミ（作＝今野 敏）
いまさら翼といわれても（作＝米澤穂信）
沈黙法廷（作＝佐々木 譲）
春に散る①・②（作＝沢木耕太郎）
山猫珈琲①・②（作＝湊 かなえ）他

📖 子どもの本

山びこくん（作＝たかはしゆうじ）
おもちゃのチャチャチャ（作＝市原 淳）
きょうのおやつはなんだろな？（作＝ふじもとのりこ）
恐竜おりがみ（作＝主婦の友社）
水滸伝①・②（作＝渡辺仙州）
ウォーリーと16人のギャング（作＝リチャード・ケネディ）
他

図書室からのお知らせ

子どもの お話し会



楽しいお話
いっぱい
聞けるよ！

中央公民館内のこどものとしょじつで、お話し会を行います。
親子で聞きに来てみませんか。

- とき 3月11日（土）午前11時から
- ところ 中央公民館1階「こどものとしょじつ」



鳥の巣ものがたり
作＝鈴木まもる



祇王・仏
作＝村中李衣

この絵本は世界の鳥の巣をめぐってお話です。アメリカのルリイカル、東南アジアのヒメオチヨウ、ヨーロッパのクワンソウトリ等たくさん鳥の巣が紹介されています。鳥の巣の観察絵本です。

す。鳥の巣って奥深いものです。普段見落としがちな鳥の巣の存在ですが、命の尊さを伝えていきます。鳥の巣に見る命を育む知恵と工夫がいろいろあり、子育て中のお母さんたちにも共感していただけたと思います。

祇王・仏は平家物語の一場面です。平家物語は清盛の盛衰の歴史をつづった軍記もの、戦いの話を中心ですが「祇王・仏」は戦いの間に華麗に咲く花白拍子、戦いの間を和らげる美しい話として現在も史実として語られています。白拍子の祇王は清盛の寵愛を受け人も羨む境遇となりましたが、3年後に追われ出家します。後には自ら白拍子を訪ねて出家します。この後話はどうなるか楽しみです。

本は知識を深めるだけでなく、人と人とのつながりを広げてくれます。新たな本との出会いは新たな人との出会いの始まり。広がる本だなどでは、新たな本との出会いの場として、毎月おすすめの本を2冊紹介します。今月の紹介者は池野菊代さんです。

広がる本だなど



石井放射線科長の

調子はいかが？

くらで病院 ☎42局1231番

くらで病院スタッフ
からの健康
アドバイスです



MRI検査を受けられない人がいると聞きましたが、本当ですか？
(45歳・女性)

MRIとは…

「MRI」とは、Magnetic Resonance Imagingの頭文字を略したものです。日本語では「磁気共鳴画像」となりますが、広く一般的にMRI検査という言葉が使用されています。

水が磁石に反応？
MRIの仕組みは…

人間の身体は大半が水でできています。この水は水素と酸素が結合した物質で、MRIでは、身体のいたるところに分布している水の中の水素原子を活用します。人体を『強い磁石』の中に入れ、弱い電波をかけることで、身体の中の水素原子から信号が出てきます。この信号は、臓器や腫瘍、正常組織や異常を起している組織によってそ

れぞれ異なります。この水分子中の水素原子の量と分布している状態を画像に換えて、診断に役立てています。

MRIの強い磁石の影響を受けると…

MRIは『強い磁石』を利用して、磁石に引き付けられる物や磁力で壊れる物は検査室に持ち込むことができません。例えば、ヘアピンやエレキバンは、磁石に引き付けられます。キャッシュカードのような磁気カードや時計、携帯電話などは、その『強い磁石』によって壊れてしまいます。

また、磁石の影響を受けるものが身体の中にあると検査を受けられないことがあります。次のものを装着している人は、基本的にはMRI検査を受け

ることができません。

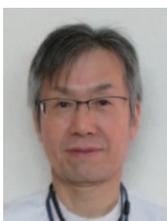
- ① 植込型心臓ペースメーカー ② 植込型除細動器（ICD） ③ 人工内耳・人工中耳 ④ 脳脊髄刺激装置 ⑤ 骨成長刺激装 ⑥ 体内埋込式インスリンポンプ ⑦ 磁石式脱着器機（義眼、義歯、人工肛門等） ⑧ タン製以外の脳動脈クリップ ⑨ 磁石に引き付けられる物質が目などにある場合やあると疑わしい場合（鉄片などが体内にある場合、または、あると疑わしい場合）

この中でも現在では①、②、③（人工中耳）については、製造メーカーや種類によってはMRI検査対応のものも出ており、その指定を受けた病院であれば検査が可能となります。⑧に関しては、現在もタン製が使用されているためMRI検査を受けることができます。ただし、1990年代以前のものに関しては、その材質を確認する必要があります。

上記以外でも、

化粧品（マスクラ、アイライン、アイシャドウ等）やカラーコンタクトレンズは、金属が含まれているものがあり、目の粘膜を傷つけてしまうことがありますので検査前に外す必要があります。また、ピアス、ネックレス、鍵、入れ歯などは、『強い磁石』により装置に向かって飛んだり、引ついたり大変危険ですし、時としてMRI装置自体を壊すことがありますので、検査室に持ち込むことができません。

突然に病気が発症し、MRI検査を受けなければ、という事態も起こります。そのような時、体内金属や体内装着器機を事前に把握しておくことにより、心配なくMRI検査を受けることができます。



アドバイザー

石井英之さん・いしひでゆき・昭和60年3月国際医学総合技術学院診療放射線技師科を卒業後、昭和60年4月から三重大学医学部附属病院勤務、昭和61年8月より鞍手町立病院に勤務。現在は、くらで病院放射線科長。

MRI検査は、磁石の影響を受けるものが体内にあると受けられない場合があります。病気から体を守るため、自分や家族の手術歴、体内金属・器機の有無を把握しておきましょう。

